

緊急！

原発をどう乗り越えるのか

—福島第1原発から 30km 圏内外地域

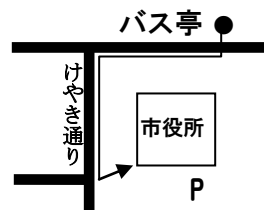
飯館村、いわき市北部、川内村の現状—

福島第1原発の収束は一向に先が見えません。そして、生活権を奪われ避難を余儀なくされる避難者の現実私たちの想像を超えています。今、この小田原でも茶葉からセシウムが検出され私たち自身も少なからずこの現実に向き合わざるを得ない中で、これまで大勢に従って無批判に享受し、浪費してきた原発をどう乗り越えるのか。避難地域の人たちの現状を詳しく知り、小田原の生産者ととも原発の功罪を明らかにして『これからの暮らし方、生き方』を与えられるのではなく、自ら考えるスタートにして行きたいと思えます。
「文明が変換する助走となるか…」私たちが問われています。

日時 2011年6月19日 (日) 13時~16時

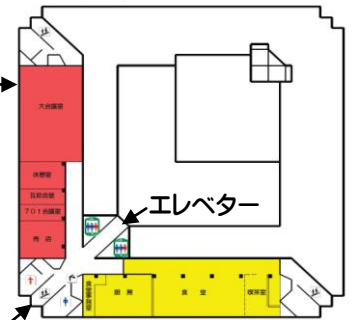
場所 小田原市役所 7F 大会議室

会費 無料



アクセス バス
小田原駅西口2番 伊豆箱根バス
12:20 発 12:40 発 約8分

7F 大会議室 →



*休日の為 南東1回通用口から

プログラム

第1部 現状報告 13時15分~

小澤祥司 飯館村現状報告 (日本大学生物資源科学部非常勤講師)
橋本宙八 いわき市北部の30km圏内生活者 (避難中)
風見正博 川内村自給自足生活者
他

第2部 原発を乗り越えられるのか シンポジウム 14時10分~

テーマ 『これからどう暮らし、どう生きるのか』
橋本宙八 風見正博 小澤祥司 他

共催 NPO あしがら農の会 NPO 新月の木国際協会おだわら NPO エコロジーアーキスケーブ

後援 小田原市環境政策課

問い合わせ 岩越松男 m.iwakoshi@suido.sakura.ne.jp FAX 0465-66-1781